

## 知事就任後3年間の取組についてのアンケート結果

県では、三日月知事の就任から3年が経過したことを機に、この3年間の取組をとりまとめました。

その内容につきまして、県民目線で評価をいただくことで、知事の今後の政策判断の参考とさせていただくためにアンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成29年8月

★対象者：県政モニター399人

★回答数：322人（回収率80.7%）

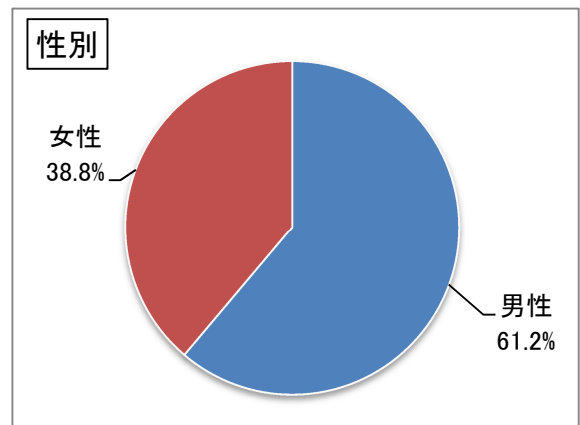
★担当課：企画調整課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

### 【属性】

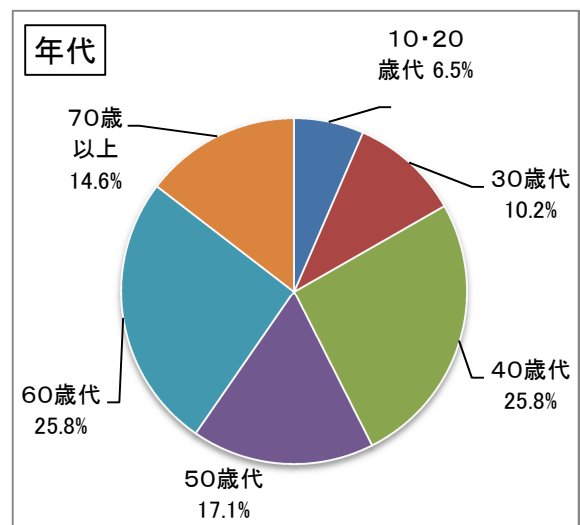
#### ◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	197	61.2
女性	125	38.8
合計	322	100.0



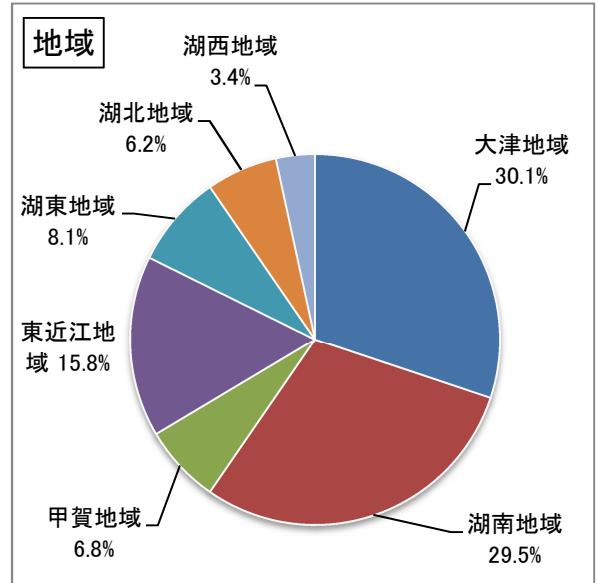
#### ◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	21	6.5
30歳代	33	10.2
40歳代	83	25.8
50歳代	55	17.1
60歳代	83	25.8
70歳以上	47	14.6
合計	322	100.0



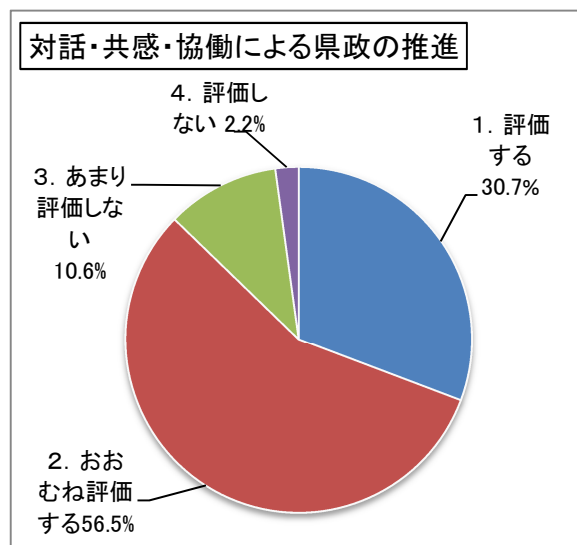
◆地域

項目	人数（人）	割合（％）
大津地域	97	30.1
湖南地域	95	29.5
甲賀地域	22	6.8
東近江地域	51	15.8
湖東地域	26	8.1
湖北地域	20	6.2
湖西地域	11	3.4
合計	322	100.0



問1 「I 基本姿勢 1 対話・共感・協働による県政の推進」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=322)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	99	30.7
2. おおむね評価する	182	56.5
3. あまり評価しない	34	10.6
4. 評価しない	7	2.2
合計	322	100.0

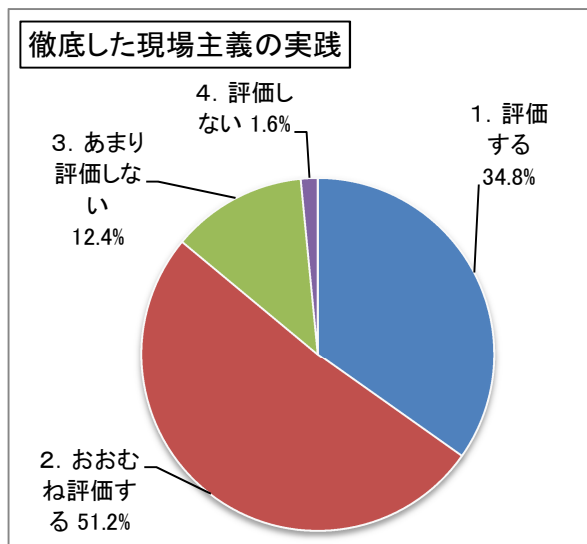


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・各種業務において知事自身の参加が多く、県民との距離感がなく、親しみを感じる。
- ・積極的に現場に足を運ばれ、知事自身の言葉で、想いを伝えていることに、知事自身の協働への思いを感じる。
- ・県内にある企業と連携協定を結び、アイデアを出しあって、県民、企業、県政のプラスになるよう取り組んで欲しい。
- ・包括的連携の具体的な活動の内容がなく、必要な提携か否か判断できない。
- ・取組はされているが、良い結果を出せているものが少ない。
- ・多くの事に取り組んでおられるようだが、庶民感覚として見るとどのようにフィードバックされているのか、その効果が確認できない。

問2 「2 徹底した現場主義の実践」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=322)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	112	34.8
2. おおむね評価する	165	51.2
3. あまり評価しない	40	12.4
4. 評価しない	5	1.6
合計	322	100.0

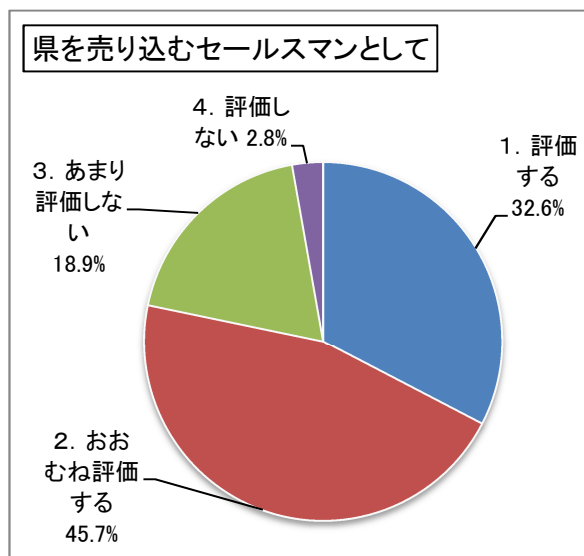


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・その土地に実際に住んでみる取組はこれまでになく、県民目線を養う点で良いと思う。
- ・条件不利地域に知事が足を運んで、そこでの生活を体験することはその住民にとって元気づけられることだったと思う。
- ・現場主義には賛同、ただ、TV受けする現場のみでなくあまり日の当たらない現場(ニュース性の薄い)にも足を運んで欲しい。
- ・現場主義は当然のこと。結果が出ているかどうか、3年間の取組を見ても判断しにくい。
- ・現場の「視察」は必要と思うが、知事自ら田植え等を行うことが果たして必要か。知事は職員を動かして報告させ、解決策を考え、指示を出すような役割も大切ではないか。

問3 「3 県を売り込むセールスマンとして」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=322)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	105	32.6
2. おおむね評価する	147	45.7
3. あまり評価しない	61	18.9
4. 評価しない	9	2.8
合計	322	100.0

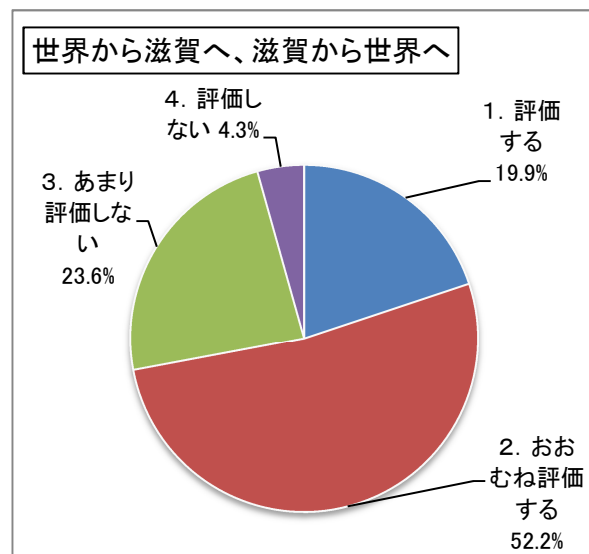


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ビワイチは琵琶湖を活かす絶好のパフォーマンスと思う。
- ・知事が先頭に立って行動することはその事業に携わる人々を勇気づけると思う。
- ・海外への売り込みの積極的な行動力は大いに評価できるが、海外から学ぶという点ではまだまだ改善の余地がある。
- ・まだ滋賀県の認知度は低い。素敵な自然、美味しい食材をもっとPRして欲しい。
- ・首都圏へのPRや関西圏の首長との連携など、積極的に行動を起こしていると思うが、もう少し、足元から県を売り込むことも有効なのではないかと思う。
- ・セールスの基本はプロセスではなく結果。残念ながらどれだけ滋賀県の評価が高まったのかが見えない。

問4 「4 世界から滋賀へ、滋賀から世界へ」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=322)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	64	19.9
2. おおむね評価する	168	52.2
3. あまり評価しない	76	23.6
4. 評価しない	14	4.3
合計	322	100.0

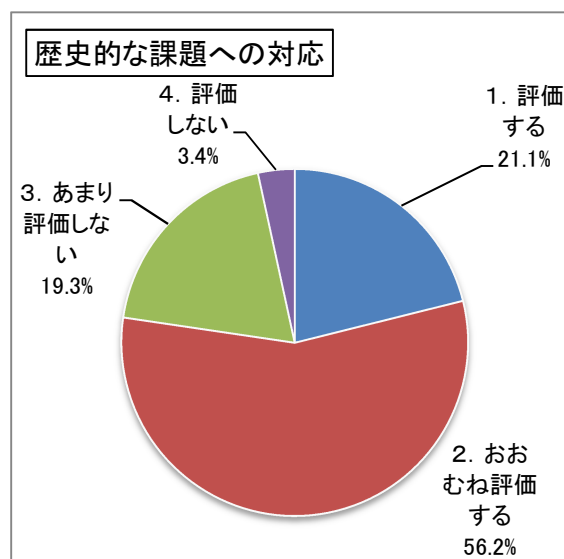


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・滋賀県を海外に売り込もうとする姿勢が感じられる。
- ・グローバル化は避けて通れないが、本当に滋賀県のためになるのかは未知。
- ・京都に差を付けられている印象。発想を転換し、京都と競うのではなく、協同でアピールする取組をしてはどうか。
- ・外国からの来訪者が県公館を表敬訪問された後の事が記されていない。彼らが日本であるいは滋賀県で何をしたのか、何を感じたのか知りたい。
- ・取組の結果、滋賀県が世界からどれだけ評価されたのか分からない。誰と会った、誰を呼んだではなく、姉妹提携でどのように滋賀が認知されているかなどの説明が欲しい。

問5 「5 歴史的な課題への対応」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=322)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	68	21.1
2. おおむね評価する	181	56.2
3. あまり評価しない	62	19.3
4. 評価しない	11	3.4
合計	322	100.0

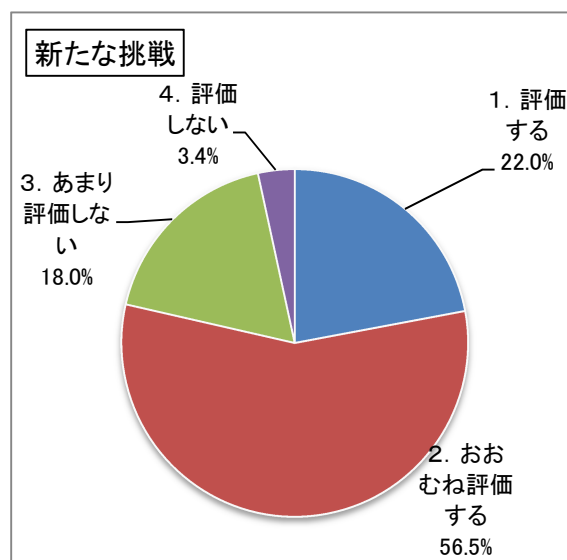


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・引き続き、原発に依存しないエネルギー社会の構築に取り組んで欲しい。
- ・滋賀県内に工場のある企業で新しいエネルギーの開発や製作ができれば、継続的な雇用の創出にも繋がるのではないかと期待している。
- ・まだまだ結果が出ていないのではないかと。どうしようとしているのかも見えてこない。
- ・代々受け継いで、未完成となっていることにもスポットをあてて欲しい。
- ・歴史的財産が多く残っているのに、それを十分アピールして使えていない。
- ・人口は減少している。他都道府県からの編入だけでなく、地元高齢者が楽しく過ごせたり、若者の地元愛を育てる活動も大事だ。

問6 「6 新たな挑戦」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。（回答チェックは1つだけ n=322）

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	71	22.0
2. おおむね評価する	182	56.5
3. あまり評価しない	58	18.0
4. 評価しない	11	3.4
合計	322	100.0



評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

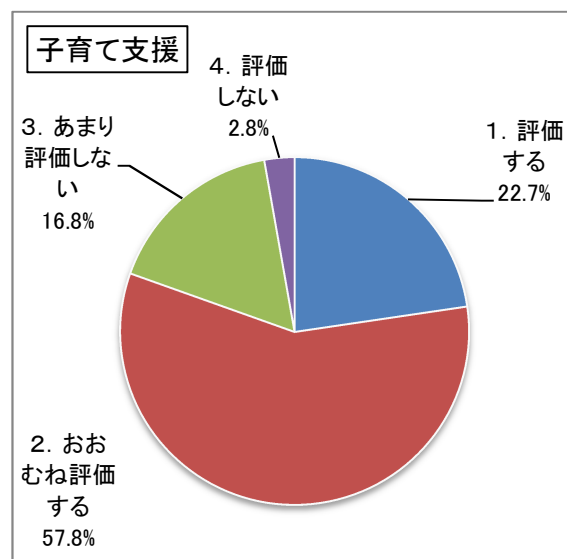
- ・SDGsを掲げたことは、先進的な国際基準の取り組みとして高く評価するが、17の目標にどう取り組むのかの具体性が見えない。
- ・「誰一人取り残さない持続可能な共生社会」表現は良いものだが、具体的には何をすれば、共生社会が確立されるのか提示して頂きたい。
- ・ビワイチは頑張っているが、自転車専用道路が整備されてないところが多く危険。
- ・目標を掲げたことは良い。目標を実現するための具体的な「目に見える形」の事業展開をお願いしたいです。

問7 「Ⅱ 知事政策提案集「7つ星の政策カテゴリー」ごとの主な取組」について、以下の各項目をどう評価されますか。(回答チェックは項目ごとに1つだけ n=322)

(1) 「いきる～全ての人の人生の応援団」

ア 子育て支援

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	73	22.7
2. おおむね評価する	186	57.8
3. あまり評価しない	54	16.8
4. 評価しない	9	2.8
合計	322	100.0

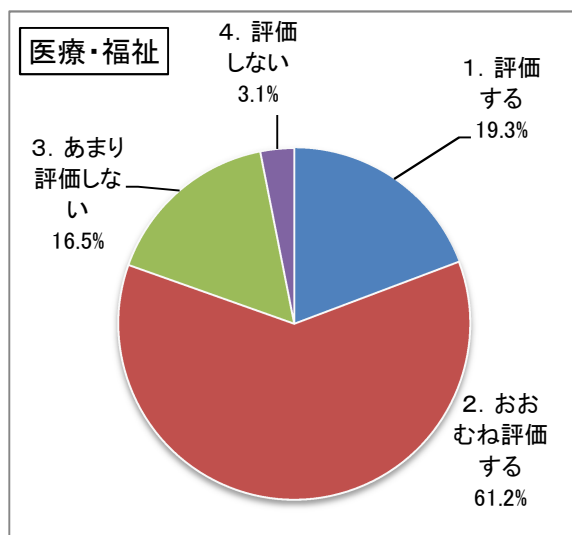


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・多子の家庭が多いのが滋賀の特徴。そのことを理解したうえで対応できていると思う。
- ・予算の制約から仕方がない面もあるが、基本的には多子世帯だけでなくすべての子の保育、医療補助を支援することを望む。
- ・学力も大事だが、体力の低下にも力を注いではどうか。
- ・女性活躍時代のインフラとして、学童保育施設の充実やスタッフの能力向上が不可欠。また市町との連携強化が望まれる。
- ・補助金の事が前に出過ぎている気がして仕方がない。子供は地域の宝・県の宝・国の宝だと考える教育をお願いしたい。

イ 医療・福祉

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	62	19.3
2. おおむね評価する	197	61.2
3. あまり評価しない	53	16.5
4. 評価しない	10	3.1
合計	322	100.0

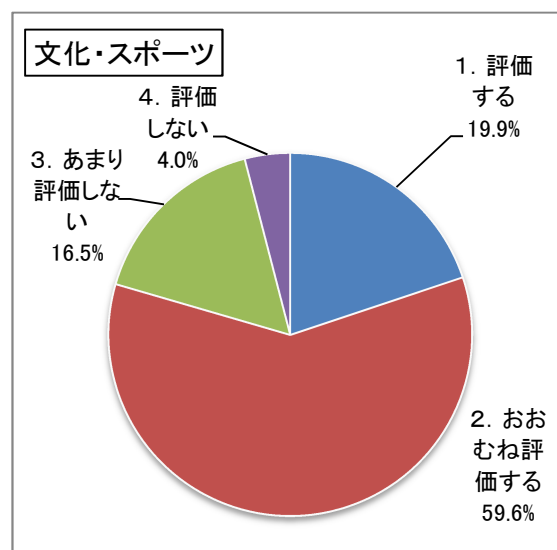


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・全国に先駆けて全県型遠隔病理診断ネットワーク事業が本格稼働を迎えることは、高く評価できる。
- ・医療施設は充実していてうれしい。
- ・ドクターヘリが着陸できる場所を増やして欲しい。消防署まで遠いので救急車を呼びヘリで移送した時に時間がかかった。
- ・在宅医療体制の加速度的な拡充整備を期待する。
- ・発達障害を迅速に診断、継続支援できる医療機関が滋賀には少ない。
- ・滋賀では北部と南部では格差がありすぎではないか。北部では改善策が急務ではないか。

### ウ 文化・スポーツ

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	64	19.9
2. おおむね評価する	192	59.6
3. あまり評価しない	53	16.5
4. 評価しない	13	4.0
合計	322	100.0



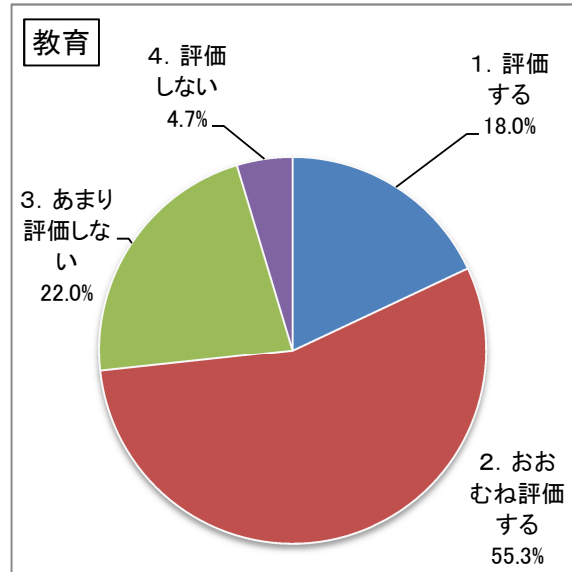
### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・滋賀スポーツ大使で県民の関心を高めるとともに、新生美術館に対しても大いに期待が持てる。
- ・オリンピック・国体と大きいイベントが続くが、負のレガシーだけは避けて頂きたい。
- ・国際舞台で活躍されている人の取り上げ、表彰のみでなく、滋賀のスポーツを底上げするアイデアを。
- ・生活に追われて参加する機会はない現状である。
- ・遊休施設の問題、老朽化による建て替えの問題も含めて欲しい。
- ・文化財の補助をもっと出し、観光者誘致先として集客できるようにすべき。
- ・唯一のプロスポーツのバスケットの支援を、もっとした方が良い。
- ・全国大会などに行くと、他県のスポーツへの力の入れ方にびっくりする。個人では限界があるので、県にもっとサポートして欲しい。



## エ 教育

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	58	18.0
2. おおむね評価する	178	55.3
3. あまり評価しない	71	22.0
4. 評価しない	15	4.7
合計	322	100.0

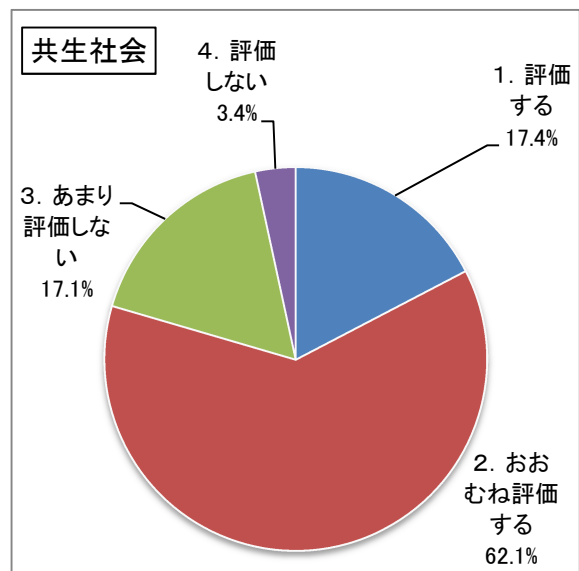


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・学校図書館活用や児童の読書支援策は学ぶ力に大きな力になると思う。
- ・子どもが参加できる交流イベントをすることはとても良いことだと思う。
- ・チャレンジウィークはとても良い試み。協賛企業がこれからも増えてくれればうれしい。
- ・学力テストだけが全てではないが、全国学力テストで滋賀県は、平均正答率が小中学とも全科目で4年続けて全国平均を下回っており、抜本的対策が急務。
- ・教師の負担軽減を真剣に考えるべき。

## オ 共生社会

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	56	17.4
2. おおむね評価する	200	62.1
3. あまり評価しない	55	17.1
4. 評価しない	11	3.4
合計	322	100.0

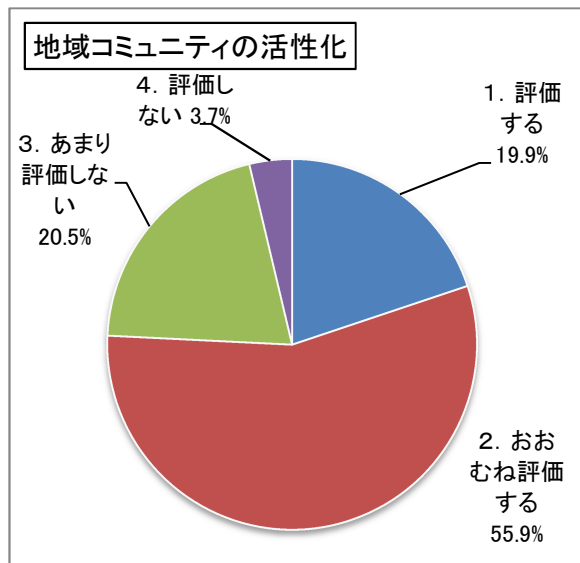


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「一人の不幸も見逃さない」共生社会づくりを目指すための条例の制定について期待する。
- ・「インクルーシブ教育」における、指導員の確保はこれからも続けて欲しい。
- ・障害者の方の就学も大事だが、就労、結婚等への取組も増やして欲しい。
- ・平成28年4月から「障害者差別解消法」が施行され、その気運の高まっているときに、共生社会の実現に向けて更なる取組をして欲しい。
- ・県民全体を巻き込み理解を深めなければ、この問題は先に進まないと思う。

カ 地域コミュニティの活性化

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	64	19.9
2. おおむね評価する	180	55.9
3. あまり評価しない	66	20.5
4. 評価しない	12	3.7
合計	322	100.0



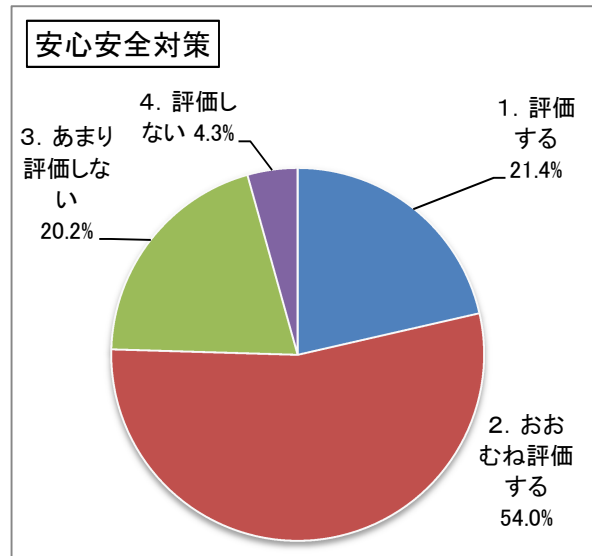
評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・空き家対策、地域商店街活性化をさらに進めて欲しい。
- ・県から市町に対して、県民がもっと気軽に参加できるような事業の推進、助成金の拡充をお願いしたい。
- ・孤独死や住民の孤立などの対策として大事なことなので今後も継続を。
- ・地域ごとの仕来り・政の継承をするためには人手が必要。地元で定住して貰える地域作りが最優先と考える。
- ・支援も良いが地域の塊が小さすぎて、至るところに公民館なるものがある。少子化、維持管理を考えるとこのままではいけないと思う。集約も必要なのではないだろうか。
- ・地域コミュニティが活性化している実感がない。

(2)「うごく～新しい公共交通の推進」

ア 安心安全対策

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	69	21.4
2. おおむね評価する	174	54.0
3. あまり評価しない	65	20.2
4. 評価しない	14	4.3
合計	322	100.0

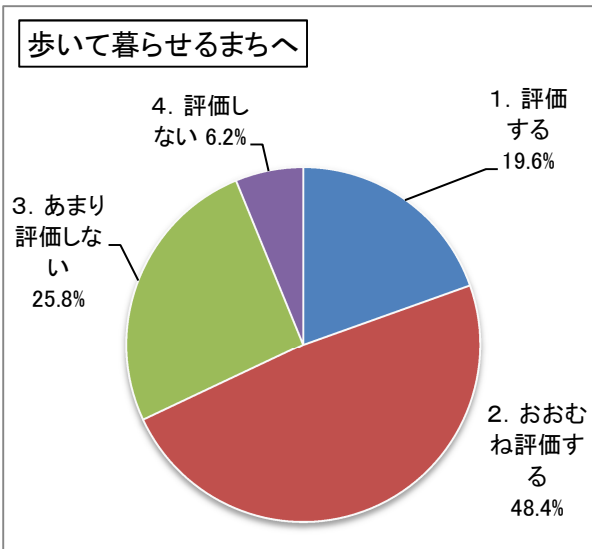


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「思いやりゾーン」の設置を今後も促進して欲しい。
- ・自動車の免許証を返上すると、とても不便になる。小型車でもいいのでスーパーや駅前のバスの便が増えて欲しい。
- ・橋梁の架け替え需要は急速に高まっている。もはや長寿命化ではない。
- ・県内での交通死亡事故、台風5号による姉川氾濫。県民の安全を揺るがす事態に早急な対応を。

イ 歩いて暮らせるまちへ

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	63	19.6
2. おおむね評価する	156	48.4
3. あまり評価しない	83	25.8
4. 評価しない	20	6.2
合計	322	100.0

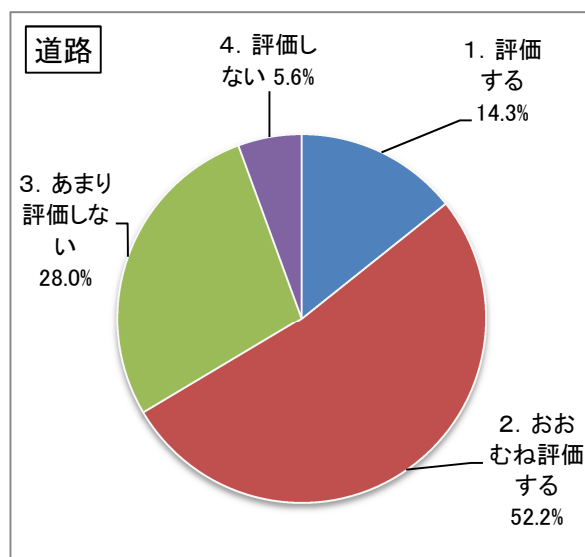


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・官民連携による安全・安心な自転車の利用促進の取組に期待する。
- ・車社会であるが故、歩く人への配慮・視点が少ないのが滋賀の欠点の一つ。「歩いて暮らせるまちへ」という視点を持ったこと自体について、非常に評価できる。
- ・プランの規模が小さすぎる。本格的に取り組もうと思うと大変なこと。財政的余裕を逃げて道にしない。
- ・自転車による事故が気になる。歩行者に安全な道路づくりなどハード面を整備して欲しい。
- ・通学路でまだまだ危険な道路がある。安心して歩ける対策を継続的に進めて欲しい。
- ・歩いて暮らせない町の人を無視しないで欲しい。

### ウ 道路

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	46	14.3
2. おおむね評価する	168	52.2
3. あまり評価しない	90	28.0
4. 評価しない	18	5.6
合計	322	100.0

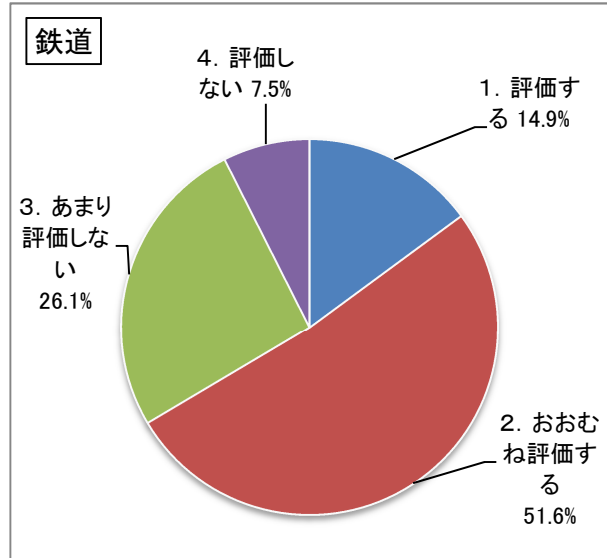


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・車を日常的に使うので、その進捗は牛歩であっても感じられる。
- ・道路整備アクションプログラムで、計画的な整備の推進が図られるが、既存の道路の標識が老朽化しており是非改善して欲しい。
- ・特に日常生活圏内の道路の安全対策の強化を希望する。（特に子供・高齢者対策）
- ・新たな道路建設より、生活道路の整備・県民の安全のための政策を最優先で願いたい。
- ・自転車道の整備を。湖周道路での車との交通事故対策を。
- ・新たに造ったものがどう機能しているのか、アナウンスして頂きたい。

## エ 鉄道

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	48	14.9
2. おおむね評価する	166	51.6
3. あまり評価しない	84	26.1
4. 評価しない	24	7.5
合計	322	100.0

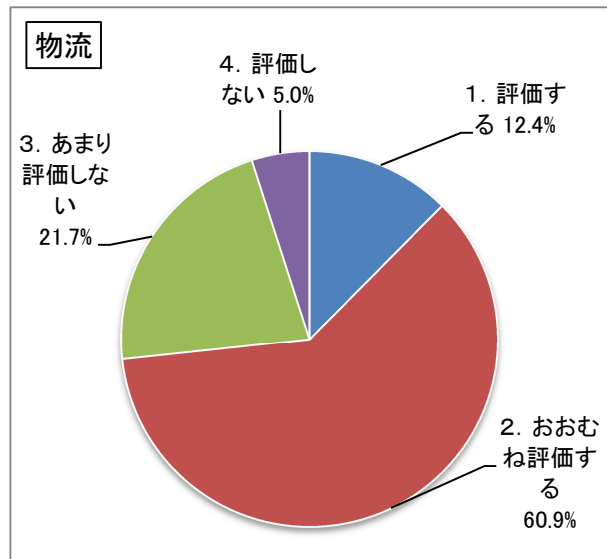


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 駅が便利になっていっている。
- ・ 信楽高原鐵道の全面復旧は喜ばしいが、事故の原因究明・安全対策の実施を願いたい。
- ・ 鉄道を利用した通勤・通学・観光は評価できる。湖西線の利用や琵琶湖を一周できる鉄道の旅を広めると効果あると思う。
- ・ 東近江・県北等の住民の鉄道はJRに頼ることしかできない。ダイヤ乱れや運転中止の影響が大きく、JRやバス会社と協議し交通網の非常時確保に費用を充てて頂きたい。
- ・ 近江鉄道、信楽高原鐵道の延伸事業を県としてどのような方向性を考えているのか、具体的に示して欲しい。
- ・ 湖西線存続に向けて一層の努力をお願いしたい。

## オ 物流

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	40	12.4
2. おおむね評価する	196	60.9
3. あまり評価しない	70	21.7
4. 評価しない	16	5.0
合計	322	100.0

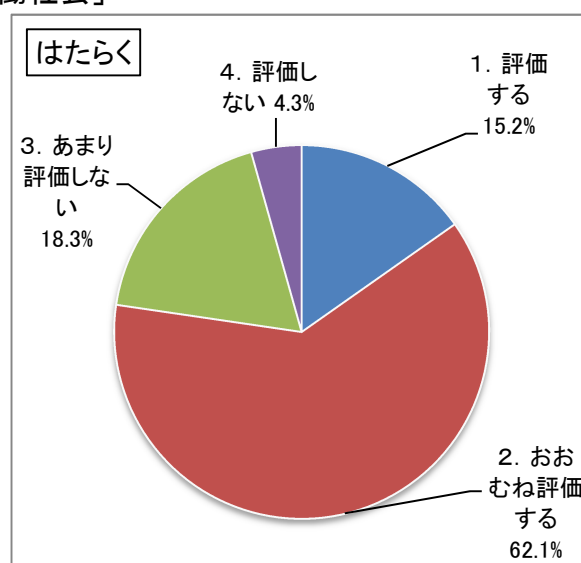


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・湖上定期航路「フェリー」を視野に入れた物流を提案したい。
- ・経済の要なので、鉄道利用など色々な角度で検討して頂きたい。
- ・物流拠点としての滋賀県の価値は高いが、それに対して県がどのように働きかけているのか、安全面も含めて活動がもうひとつ見えて来ない。
- ・物流拠点をすることは必要だと思うが、新しい物流方法も研究されたい。
- ・物流の何をやりたいのか、漠然としている。

(3)「はたらく～みんなの力を活かす協働社会」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	49	15.2
2. おおむね評価する	200	62.1
3. あまり評価しない	59	18.3
4. 評価しない	14	4.3
合計	322	100.0



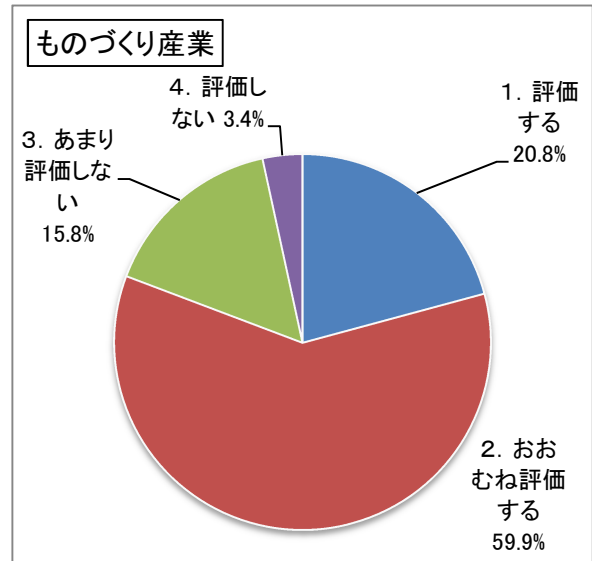
評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・異業職交流（異業職体験）等を行い、お互いの英知を勉強し協働社会を生み出してはどうか。
- ・職人を発掘し、ゆとり教育世代の人に技を伝承していく流れを沢山作って欲しい。
- ・潜在的な職業能力を発掘する取組は、他府県より積極的だと思う。
- ・チャレンジウィークの目的は受入企業にも徹底されているか。「やらないといけないからやる」になっていないか。
- ・職場だけでなく地域社会に於いても「女性活躍社会」「イクボス」は掛け声で終わらない様にして欲しい。
- ・中高年者の県内での働き場所をもっと確保して欲しい。優秀な人の活用ができていないと思う。
- ・定量的に評価すべきではないか。例えば女性活躍とは、どうなることを目指しているのか。

(4)「つくる～ものづくりで元気な滋賀を！」

ア ものづくり産業

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	67	20.8
2. おおむね評価する	193	59.9
3. あまり評価しない	51	15.8
4. 評価しない	11	3.4
合計	322	100.0

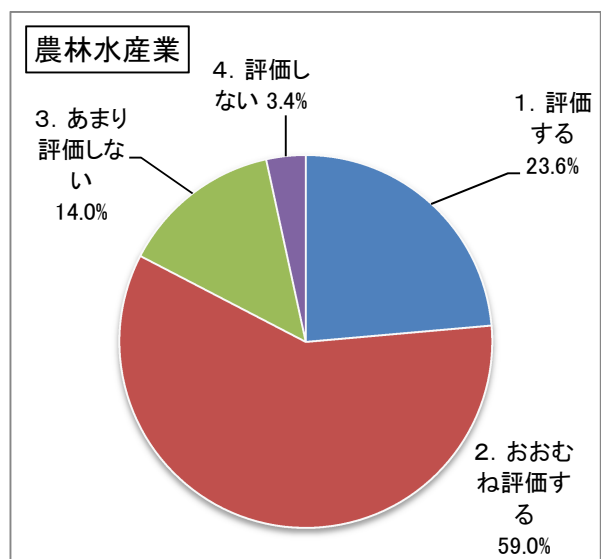


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「おいしが、うれしが」のロゴマークや、モノにブランドとしての付加価値をつける取り組みが良いと思う。
- ・滋賀県には、大手メーカーだけでなく、メーカーの協力企業(下請け)であっても、優秀な技術を持った企業が多いことを情報発信して頂きたい。
- ・元々がものづくり中心の県なので、こうしたことは県の本来の強みを引き出すと思う。
- ・製造業、農林業以外の産業の発展にも取り組んで欲しい。
- ・滋賀県の立地条件の優位性を活かした〇〇特区などの整備などを具体的に進めて欲しい。

イ 農林水産業

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	76	23.6
2. おおむね評価する	190	59.0
3. あまり評価しない	45	14.0
4. 評価しない	11	3.4
合計	322	100.0

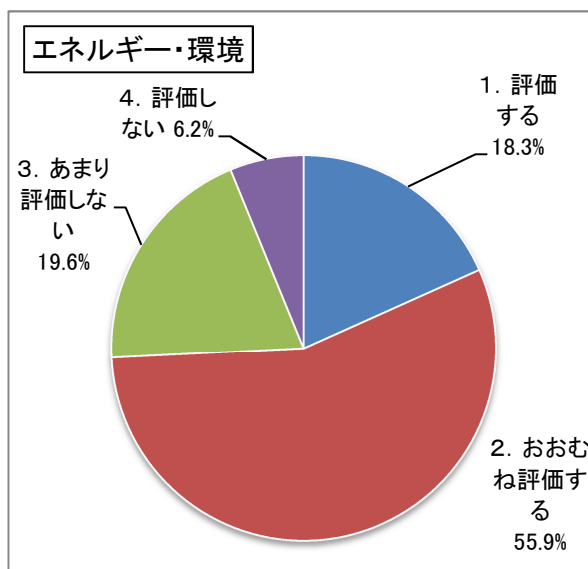


### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「みずかがみ」「近江牛」「琵琶湖八珍」の発信は評価できる。
- ・「ふるさと近江（滋賀）といえば、〇〇！」という事業を展開して欲しい。
- ・鮎の不漁に関して、臨機応変に行動されたと思う。
- ・一部の品種だけが裕福にならないように希望する。
- ・地元の農産物が購入できる場を増やして欲しい。
- ・滋賀県民にも強くPRして欲しい。
- ・農業の崩壊＝地域の崩壊。農業を守る取組、子供に体験させる取組は大事だと思う。
- ・特に林業の振興および山林の手入れに力を入れて欲しい。林業への視点が少なすぎる。
- ・「滋賀といえばびわ湖」以外のものがあまりない。地元の物で新しい物を作り出すべき。
- ・年々放置されている田畑が増えていることからあまり評価できない。

### ウ エネルギー・環境

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	59	18.3
2. おおむね評価する	180	55.9
3. あまり評価しない	63	19.6
4. 評価しない	20	6.2
合計	322	100.0



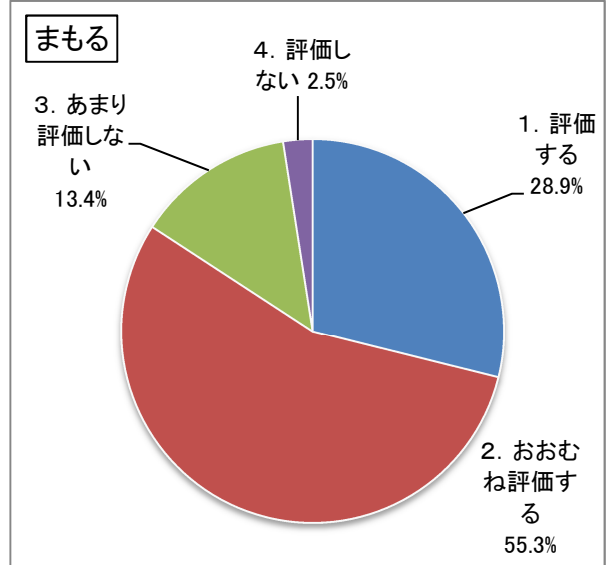
### 評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「原発に依存しない新しいエネルギー社会」の実現を最も強く望む。
- ・活発な啓発と多様な自然エネルギーの活用は評価できる。
- ・将来に向け琵琶湖の水を利用したエネルギー開発はできないか。
- ・昔から水環境ビジネスは言われているが、何をしようとしているのかPR不足で不明だ。
- ・メガソーラーは環境を破壊し治安上良くないのでこれ以上はやめて欲しい。汚泥での発電やゴミ焼却の熱を利用した発電など人や他の動植物を害することのない発電方法にして欲しい。
- ・原発反対であれば、具体的な代替策を提示すべき。
- ・脱原発を標榜する割には、県独自の取組内容、スピードに迫力を感じない。



(5)「まもる～豊かなびわ湖を次世代に」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	93	28.9
2. おおむね評価する	178	55.3
3. あまり評価しない	43	13.4
4. 評価しない	8	2.5
合計	322	100.0

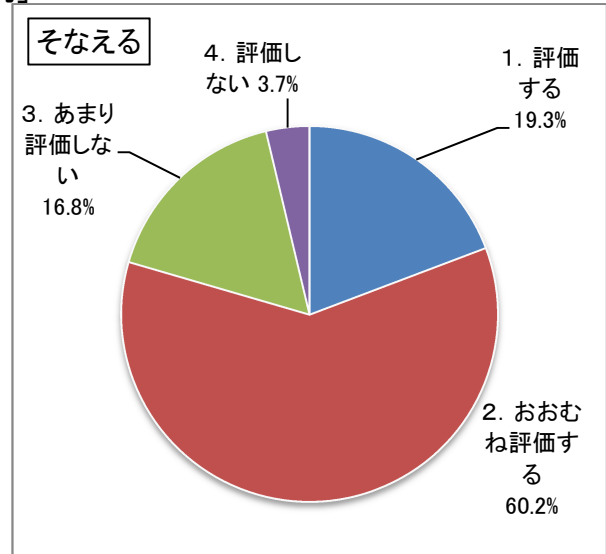


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・法律が制定されるなど、進んでいる印象がある。
- ・国立環境研究所との連携に期待したい。
- ・汚染は昔の話ではない。また、外来魚などの新たな汚染もあることを示して欲しい。
- ・湖沼の環境保全是滋賀県がリーダーとなって世界を引っ張って欲しい。
- ・是非、子供たちの時代まで豊かな美しい琵琶湖を守って欲しい。
- ・琵琶湖に浮いているごみや、湖週の岸に打ち上げられているごみを見ると評価できない。
- ・施策的に手詰まり感があり、発想を変えて取り組むべきである。
- ・琵琶湖を守るのには、多くの犠牲の覚悟がいる。あちこちの顔色見ては不可能。

(6)「そなえる～安全・安心社会の実現」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	62	19.3
2. おおむね評価する	194	60.2
3. あまり評価しない	54	16.8
4. 評価しない	12	3.7
合計	322	100.0

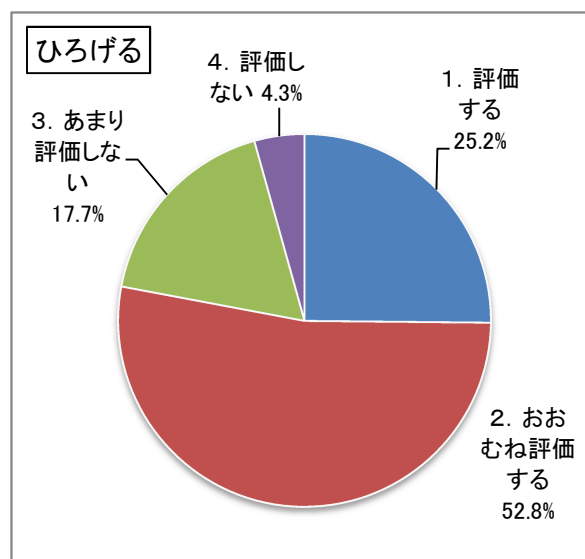


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・安全安心は県民最大の願い。さらに進化した安全安心社会の実現を期待する。
- ・近県との協力体制について具体的に議論することも重要と思う。
- ・滋賀県は災害が少ない県であり、災害ボケしているところがあるが、危機管理センターが整備され、万一に備え防災力の向上が図られていることは安全安心に繋がり評価出来る。
- ・しらしがメールのさらなる充実を期待する。
- ・河川の氾濫防止に力を入れて頂きたい。河床の掘り下げや堤防の強化を。
- ・県内で相次ぐ「振り込め詐欺」などの犯罪対応を拡大して欲しい。
- ・県民が具体的に今何をすべきかがよく分からない。

(7)「ひろげる～ようこそ滋賀へ！」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	81	25.2
2. おおむね評価する	170	52.8
3. あまり評価しない	57	17.7
4. 評価しない	14	4.3
合計	322	100.0

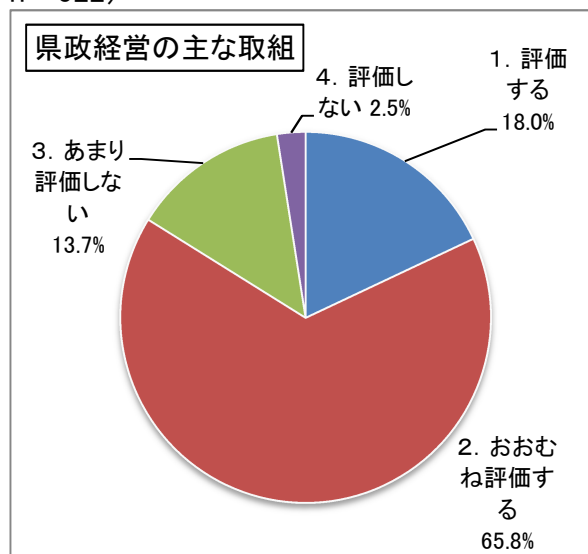


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「日本遺産」にも良いところが多くあり、発信して頂きたい。
- ・東京に今まで無かったアンテナショップが出来た事は良いことである。単なるマーケットで終わらないように運営して欲しい。
- ・ピワイチは先に徹底した設備環境の完備をしてからにして欲しい。車で走行が怖い場所がないようにして欲しい。
- ・観光資源も多いので、まだまだできることがあるのではないだろうか。
- ・「琵琶湖とその水辺景観を活かした観光資源の磨き上げ」が掲げられているが、水辺景観はゴミが散乱していて見苦しい。
- ・県外、特に近畿外に行くと滋賀ブランドがあまり浸透していないと実感する。
- ・地味な活動であり継続性が必要であるが、あわせて県民へのPRをもっと行うべきである。

問8 「県政経営の主な取組」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=322)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	58	18.0
2. おおむね評価する	212	65.8
3. あまり評価しない	44	13.7
4. 評価しない	8	2.5
合計	322	100.0



評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・まだ大きな変化は感じないが、前向きに努力されているようなので、今後に期待している。
- ・過去に比べ、この3年間は取組内容が具体的でありかつ分かりやすいと思う。
- ・知事の3年間の取組をみて理解できる部分と、よく分からない事が混在している。
- ・個々の取組の詳細について、他の自治体の比較などがあると評価しやすいが、今回の資料では判断が難しい。
- ・行政のスマート化は、どの自治体も今後避けて通れない。働き方改革は公務員の方にも必要である。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実践を呼びかけだけに終わることがないように具体的な取組強化をお願いしたい。
- ・県庁を訪問すると、節電のために廊下も暗く、会議室も室温管理がされていない。職員も兼任が多く、全てをすり減らしている感じがして、余裕が感じられない。そのようなところに相談しにくい。
- ・末尾に行った事に対しその評価して「見える化」をするのは好ましい。

問9 その他、知事就任後3年間の取組について感じることや、今後取り組んでほしいことについて、ご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・フットワークよく行動されていると、県内ニュースなどで拝見している。住みやすい街として取り上げられる事が増えていくような活発な取組を、県民をどんどん巻き込んで繰り広げていただきたい。参加できる機会があれば積極的に参加したい。
- ・まだ道半ばだと思う。結果が全てではないものの、やはり県民は結果を求める。緩急をつけ、より良い県政のために尽力して欲しい。
- ・滋賀県にとって一番大切な琵琶湖を守る政策は色々やっていると聞いているように思うが、活かす政策はまだまだできていないと思う。今後の課題として取り組んで頂きたい。
- ・知事自ら登場しなくては良いのでは。もっと優先すべき事項があるのでは。という印象を受ける。
- ・①駅の整備、②道路の整備、③教育の整備、④公立受験の簡素化(偏差値が非常に分かっていくなっている)、⑤瀬田川沿いの混雑(何十年も変わっていない)等、暮らしやすくなったという実感が湧かない。
- ・子育てのしやすい県と認識していたが、学力の低い県ではダメなのではないか。早急に対策すべき。上位とまでいなくても最下位ではまずいと思う。
- ・ビワイチなど琵琶湖を活かした観光客誘致の施策を進めて欲しい。例えば小学生のうみのこ体験学習のように、小学生又は中学生にビワイチを体験させる。
- ・教育の向上と郷土への愛着を育てる政策が欲しい。優秀な人材が進学や就職のために県外に出てしまい、滋賀で起業する、就職する機会が少ないのではと感じている。
- ・マスコミへの登場の仕方は、県民にお知らせするためと言うよりもパフォーマンス先行の様に感じられる面もあった。高齢者だけでなく障害者にとっても住みよい県であるように尽力して頂きたい。
- ・まだまだ課題は山積していると思われるが、もっと外部(専門分野)の方とコラボする・若い世代の意見を取り入れるなど広い視野にたって取り組んで頂きたい。
- ・我々目線で取り組まれ、頑張っておられると思う。これからは安心して子供を育てられる社会、年寄りも安心して滋賀で死んでゆける社会を目指して頂きたい。
- ・県内各地を良く周り地域の声を聞いていると思うが、県内の南と北の地域格差が、まだ大きいので少しでも解消する様な政策を推進して欲しい。
- ・現知事の政策の点検は言わずもがな、引き継いでいる政策、施設や投資融資貸付などを的確に点検、現在県民にとってどれほどの益になっているか負担を強いているかを県民に分かりやすく客観的な視点で説明して欲しい。一般の県民感情からはあまりにももったいない税金の使い方に見えることがたくさんある。
- ・知事が多くの事に取り組んでおられる事が多少なりとも理解が出来た。取組が掛け声倒れにならない様に、これまで以上に計画～実行～成果等を注視していく事が必要である。その為には、評価基準を明確にして進捗状況が誰もが理解できるように「見える化」をして頂きたい。
- ・最近海外への視察が取り沙汰されている。知事の海外視察の成果や現地に行って初めて得た事、またその得た内容を具体的にどの部門がいつまでの計画で実行する予定をされたかなどを県民に分かりやすく見えやすい形で開示頂けたらありがたい。
- ・滋賀県に対する県民の評価は低いと思う。住みたい都道府県ランキングでも下位だったと思う。まだまだ魅力的な県政ではないと思う。